

「路面温度上昇抑制機能を有する舗装の整備」について

1 概要

- 東京2020大会に向けた道路の暑さ対策のひとつとして、都道において、2020年までに、路面温度上昇抑制機能を有する遮熱性舗装等を累計約136km整備する



- 平成30年度末、遮熱性舗装(約109km)・保水性舗装(約20km)累計約129km整備済

2 整備方針

◎整備箇所

- 現道上で実施する競技コース(マラソン・競歩など)
- 競技会場周辺の道路等
(新国立競技場、東京国際フォーラムなど)
(周辺における観客の主な動線となる道路等)

◎整備手法

- 都 道：路面補修工事にあわせて整備
- 区市道：遮熱性舗装等に対する対象区市への都費補助
(各区市が主体となり整備)

◎調整事項など

- 他事業との連携（自転車走行空間、無電柱化、バリアフリー等）
- 競技コースは、東京 2020 大会までに着実に整備を進める

3 今後のスケジュール

H30まで	R1	R2
【都道】 約 129km 整備済	遮熱性舗装・保水性舗装の整備 (約 136km)	東京2020大会
	区市道への整備補助	